

令和2年7月臨時記者会見

■日時：7月30日(木)午後5時

■場所：イーストピアみやこ市民交流センター 1階会議室1・2

会見項目

1. 宮古市の新型コロナウイルス感染者の状況等について

会見内容

別紙資料のとおり。

記者との質疑

IBC

今まで感染症予防への取り組みを実施してきた中で、今回陽性患者が発生した訳ですが、今後のコロナ対策はどういったものを検討していますか。

市長

自粛要請が出ていない状況では、他地域との交流はやむを得ないものと思います。まずは「自分の身は自分で守る」ということが大事だと思いますので、毎日の体温測定・手洗いうがいとマスク着用の徹底・三密を避けた行動などの実施を、市民に改めて周知していきます。今後の感染拡大の状況次第では、施設等の利用制限などについても検討する必要があると考えます。

IBC

市内で陽性患者が発生したことを不安に思う市民も少なくないと思います。そのことについてどのように感じていますか。

市長

昨日の時点では詳細な情報がなかったことから、不安を感じている方がいると思います。今日になり、市内飲食店への出入りがなかったことなど、陽性患者の動向がわかってきました。市民の皆さんには、これまで通り感染予防への取り組みをしっかりと継続して欲しいと思います。

読売新聞

先日海開きをしたばかりですが、陽性患者の発生を受けて、来場者の規制などの対応は考

えていますか。

市長

現時点では規制などは考えていません。陽性患者の発生の有無にかかわらず、感染症予防の徹底に取り組んできました。観光客の皆さんには、各自の体調管理やソーシャルディスタンスなどの取り組みにご協力いただきたいと思います。

朝日新聞

陽性患者の職業「自営業」について、職種等は公表されないのでしょうか。

市長

個人の特定につながる情報になりますので、これ以上のことはお答えいたしません。

朝日新聞

職種の公表は、個人の特定につながらないのではないのでしょうか。今回の会見資料が、先ほど行われた県の記者会見と同じ内容であることも疑問に思います。市民を守る立場として、市独自で調査し、もっと詳しい情報を公表するべきではないのでしょうか。

市長

本件については、県と市が連携し調査を進めてきました。そのため、市独自に調査し公表するというものではありません。

NHK

人の出入りが多くなる観光シーズンになります。医療機関が脆弱な地域では、感染が拡大し感染者が多くなると、患者の受け入れができなくなることも予想されます。宮古市も同様の問題を抱えていると思いますが、観光による行動自粛などは必要だと思いますか。

市長

現時点では自粛は必要ないと思います。この問題については、1つの自治体だけでなく、近隣市町村や県・国と連携し、対応していくことが重要だと考えます。

岩手日報

陽性患者は、自覚症状がありながら、複数の医療機関を受診し、3件目の受診でようやく宮古市地域外来・検査センター(以下、市検査センター)を紹介されています。県内での発症者が出ていない状況で、検査を受けることへのプレッシャーがあったのではないかと考えられます。市検査センターの活用についてはどう考えていますか。

市長

宮古市の場合は「疑わしい場合は市検査センターを利用してほしい」という方針を、市医師会にも説明しているので、今後も積極的に検査を行ってほしいと思います。今回のケースは、各医療機関を受けた時期にタイムラグがあり、時間の経過とともに症状も変わってきたと思われるので、PCR検査実施の判断が難しかったのではないかと考えます。

朝日新聞

同じ日に陽性患者発生の公表をした盛岡市とくらべ、宮古市は行動経路等の判明に時間を要したのはなぜですか。

市長

検査結果が出た時間によるものと思います。盛岡市の場合は昨日の午後早くに結果が出たので、日中のうちに調査が進んだのですが、宮古市の場合は結果が出たのが昨日午後6時でしたので、会見までに調査が進んでいなかったという状況にありました。

NHK

陽性患者が宮古・田老・新里・川井のどの地域で発生したのかは、公開されないのでしょうか。

市長

小さい集落の地域もあり、個人の特定につながる情報だと思しますので、お答えできかねます。

朝日新聞

全国では、陽性患者やその家族に対し、いやがらせをする事件も起きています。そうした行動はやめるように市民に呼び掛けたり、メッセージを公表したりする予定はありますか。

市長

難しい問題であると思いますが、コロナに負けずみんなで頑張っていこう、という呼びかけはこれまでも行っていますし、今後も続けてまいります。

岩手日報

県内では今後も陽性患者が出てくる可能性が高いと思いますが、新しい対策などはありますか。

市長

感染の状況がどうなっていくのかによるものと思いますが、必要に応じて、新たな対策について考えてまいります。

NHK

市内飲食店に対し営業自粛などを要請する予定はありますか。

市長

ございません。感染症対策を行ったうえで営業していただいてよいものと考えています。各店には、三密を防ぐ・来店前に体温を測定する・テーブルや座席などの消毒の徹底をお願いしたいと思います。

毎日新聞

陽性患者発生を受け、改めて、市民へのメッセージをお願いします。

市長

感染が広がっていけば、活動自粛などの要請もやむを得ないと思っていますが、今はまだそうした状況ではないと思います。感染症対策と経済活動を両立させるよう、宮古市民ワゴンチームで「新しい生活様式」に向けた取り組みを行ってまいりましょう。

NHK

観光客へのメッセージをお願いします。

市長

観光客の皆さんにも、「新しい生活様式」による感染症予防やマナーに取り組んでいただきたくようお願いします。

毎日新聞

今後、新型コロナの陽性患者発生に関する記者会見は、こういった場合に実施しますか。

市長

昨日の会見では「詳細が分かり次第、改めて会見でお伝えする」とお話ししたため、本日は県の会見と同じ内容となりました。ただ、県と同様の情報であれば会見をする意味がないという意見もありますので、記者クラブのお考えをお示しいただきたいと存じます。

宮古市の新型コロナウイルス感染者の状況等について

令和2年7月30日15時現在

1 患者概要

(1) 年代	30代
(2) 性別	男性
(3) 居住地	宮古市
(4) 職業	自営業
(5) 症状等	なし
(6) 濃厚接触者等	濃厚接触者は家族7名となっており、現在PCR検査実施中。それ以外の濃厚接触者は保健所にて調査中。

2 行動歴等

(1) 発症2日前からの行動歴

7月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 発熱。 自家用車で市外の医療機関Aを受診(車内から電話で遠隔受診、マスク着用)。
7月25日(土)	<ul style="list-style-type: none"> 帰国者・接触者相談センターに電話連絡の上、自家用車で、市外の医療機関Bを受診(マスク着用)。
7月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 症状が継続することから、医療機関Cの医師の紹介を受けて、宮古市地域外来・検査センターにおいて、同日、PCR検査を実施。
7月29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> PCR検査結果、陽性と判明し、同日、感染症指定医療機関へ入院。現在、軽症という診断。

(2) 発症14日前からの行動歴

7月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 県外の取引先2人と事務所で打合せ(マスク着用)。 自家用車で移動し、市外の飲食店2か所で会食(県外の取引先2人、県内の取引先2人、本人の計5人)。 県内のホテルに1人で宿泊。 発症前14日間の県外、海外渡航歴なし。
----------	--

(3) 現在の対応状況

7月16日(木)に会食を一緒にした県内外の取引先4人のうち、県内の1名は症状があり(鼻とのどの違和感)、その他の3名に症状がないことを宮古保健所が電話にて確認済。本日、県内の2名については、県央保健所がPCR検査を実施中。県外の2名については、当該保健所に対応を依頼済み。

■問い合わせ 市健康課 (Tel0193-64-0111)